

審議した主な議案

平成29年度 一般会計予算

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論(要旨)

中山克己(自民党小金井)

小金井市薬剤師会が要望してきた在宅使用済注射針の回収事業に対する経費の一部補助、小金井市歯科医師会と連携した成人歯科健診の対象年齢の拡大など高く評価できる事業が盛り込まれており積極的な事業の推進をお願いしたい。平成29年度の安定した行政サービスの提供と市民サービスの向上を第一と考

反対討論(要旨)

水上洋志(日本共産党)

反対の理由は次のとおり。①市民生活が大変な中、保育料などの新たな値上げを行う市民生活に冷たい予算であるため。②小・中学生医療費の完全無料化、国保税の引下げ、介護保険料の軽減拡充、奨学金制度の拡充など実現を求める。③「市財政が厳しい」と市民に負担を押し付ける一方、再開発事業などには多額の税金を投入する予算であるため。④毎年10億円もの繰越金が生まれる中、市民生活支援が不十分であるため。

賛成討論(要旨)

渡辺ふき子(公明党)

①新福祉会館建設に関する明確な建設計画、スケジュール、

長期財政見通しが示されたこと

②国や都が提案する出産・子育て、空き家対策等の補助金を適切にキャッチし、施策の拡充を図っていること。③認可保育所と認可外保育施設の格差是正が図られたこと。④路面下空洞化調査委託料、私立幼稚園保護者補助金の拡充、飼い主のいない猫対策等、市議会公明党の要望が多数盛り込まれていること。

反対討論(要旨)

渡辺大三(リベラル保守)

市長原案には99%以上は賛成だが、市庁舎と福祉会館建設に関して、スケジュールが非常に遅すぎ、また、コストダウンが不十分である。そういう思いを込めて提出したのが修正案である。稲葉市政は土木費偏重だったが、今回の市長原案は、民生費と教育費に相当手厚い予算措置が行われている。しかし、人件費に関しては、本年度も来年度も正規職員が増えている。類似団体最少の職員でやるとい

賛成討論(要旨)

鈴木成夫(市議会民進党)

本議案は、人への投資が大幅に前進し、保育の量と質の向上のため、児童福祉費が前年度比7億円以上増額され、子育て環境日本一への取組が図られた。また、生活困窮者支援、街路灯LED化など今までにない新たな取組についても高く評価する。市長公約の新庁舎、新福祉会館に関する予算が計上されたこと

も重要で、今後の検討は市民参加を得て、引き続き市民と議会との対話を重視して一刻も早く検討に着手することを要望し、賛成する。

反対討論(要旨)

林 倫子(生活者ネット)

本予算には修正案が必要という立場である。速やかに庁内で庁舎建設の素案をまとめ、基本設計に進むことが重要である。ようやく動き出したが、今以上に遅れてはならないと判断し、本予算に反対する。保育関連経費は一過性のものにならないよう国や都への働きかけを強め、民間委託・移譲は子どもの命に対する責任という観点で質の議論自治体の責任を検討するべきである。武蔵小金井駅南口第2地区再開発事業は周辺への丁寧な対応もなく、執行すべきでない。

賛成討論(要旨)

露口哲治(小金井自民)

第二庁舎の年間賃料の無駄を考え、新庁舎・福祉会館建設の期間短縮に努めるべきであり、予算に対して以下2点を求め、賛成とする。①新庁舎に係る執務環境調査や建設計画調査の事業について、進捗の度合いを見える化するべきである。②受託者との協議状況、土壌の安全性や新福祉会館建設基本計画の策定状況などでスケジュールの前提を強く意識し、予算年度の途中でも、判断が可能となった時点で設計業務についての補正予算を措置するべきである。

反対討論(要旨)

片山 薫(緑・市民自治)

これまで提案してきた、認可保育所と認可外保育施設との保育料の格差是正、フードドライブ、空き家活用の調査、女性相談の回数の増加などが入っ

ることは評価する。しかし、新庁舎と新福祉会館の基本設計費が含まれていないこと、公民館本館に関する経費が含まれていないこと、武蔵小金井駅南口第2地区の再開発補助金が含まれていないこと、就学援助の認定倍率の引下げ、教育費の保護者負担の調査がなされていないことから、本予算に反対する。

奨学資金支給条例の一部を改正する条例(議員提案)

2月7日の本会議において厚生文教委員会(渡辺ふき子委員長)に付託し、2月9日の委員会で審査を行いました。

本条例は、厳しい経済情勢を踏まえ、小金井市の奨学金の支給額を増額することを目的として、議員から提案しました。内容は、大学生等は月額2万円、定数10人、高校生等は月額1万2千円で定数50人と、月額と支給人数を定めるものです。3月9日の本会議では、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。

賛成討論(要旨)

板倉真也(日本共産党)

いまや、家庭の経済状況によって学ぶ機会を奪われる事態をなくそうという取組は、社会全体の大きな流れになっている。条例案を実現するためには700万円の財源があれば可能。小金井市はこの間、10億円前後の赤字決算が続いており、0・7%を充てれば実現できる。西岡市長は選挙公約で「子育て環境日本一」を掲げて当選しており、経済的理由で進学を断念、あるいは中途退学せざるを得ない若者をつくらぬいまち・小金井にするために賛成する。

議会広報に関する意識調査(アンケート)を実施しました

広報協議会では、市議会だよりの体裁の改善や内容の充実、市議会ホームページの利便性の向上等、様々な事項について検討を進めています。本調査は、このような検討の中で、市民の皆様の声を反映することを目的に実施したものです。

調査方法及び回収結果

【調査期間】平成28年12月2日～12月28日
【調査方法】郵送配布・郵送回収
【調査対象】無作為に抽出された18歳以上の市民2千人
【回収結果】584人(回収率29・2%)

Q 市議会だよりを読んだことがありますか?
毎回読んでいる 22.9%
たまに読んでいる 45.3%
読んでいない 31.2%
その他 0.3%
無回答 0.3%

Q 市議会だよりは現行のタブロイド版8ページとA4版16ページのどちらが良いと思いますか?
タブロイド版8ページ 52.9%
A4版16ページ 12.7%
分からない 19.2%
その他 10.2%
無回答 5.0%

Q 市議会ホームページを見たことがありますか?
見たことがある 15.4%
見たことがない 78.6%
無回答 6.0%

Q 市議会ホームページを見たことがある方にお尋ねします。知りたい情報は探しやすいですか?
探しやすい 43.3%
探しやすい 3.3%
探しやすい 4.4%
探しやすい 10.1%
探しやすい 38.9%

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。